

幾何学概論第一 (MTH.B211)

ユークリッド空間の曲線

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

<http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2021/geom-1/>

東京工業大学理学院数学系

2021/10/07

曲線のパラメータ表示

パラメータ表示された曲線:

$$\gamma: \mathbb{R} \supset \underbrace{J}_{\text{区間}} \ni t \mapsto \gamma(t) = \begin{pmatrix} x_1(t) \\ \vdots \\ x_n(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^n$$

微分幾何

定義

γ が C^∞ -級 \iff 各 $x_j: J \rightarrow \mathbb{R}$ ($j = 1, \dots, n$) が C^∞ -級

曲線: 定義しない.

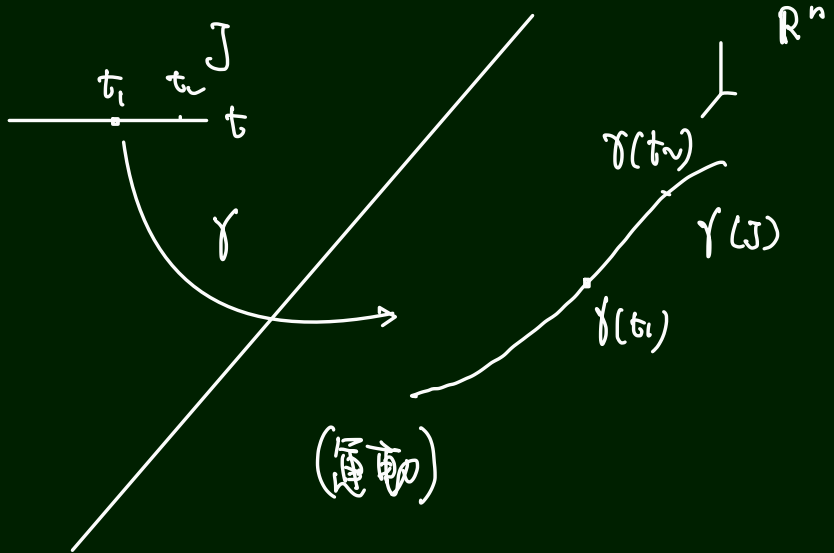
r 回微分可能かつ

$\varphi^{(r)}$

が連続

γ の \mathbb{R} に対し

C^n -級



曲線の弧長

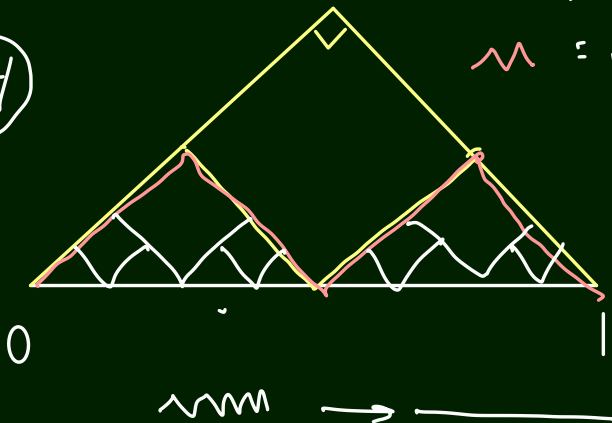
$\sqrt{2} = 1 :$

(57)

$\wedge = \sqrt{2}$

$\sim = 1$

$\text{wavy} = \sqrt{2}$



曲線の弧長

(お)

定義

パラメータ付けられた曲線 $\gamma: [a, b] \rightarrow \mathbb{R}^n$ の弧長を次で定める:

みほひ

$$\mathcal{L}(\gamma) := \int_a^b |\dot{\gamma}(t)| dt.$$

$$\dot{\gamma} = \frac{d\gamma}{dt}$$

速度 $v \rightarrow u$

命題

曲線の弧長は \mathbb{R}^n の合同変換で不変.

$$\tilde{\gamma} := A\gamma + a \quad A \in O(n)$$
$$\Rightarrow \mathcal{L}(\tilde{\gamma}) = \mathcal{L}(\gamma) ; \quad \odot |\dot{\tilde{\gamma}}| = |A\dot{\gamma}| = |\dot{\gamma}|$$

曲線の弧長

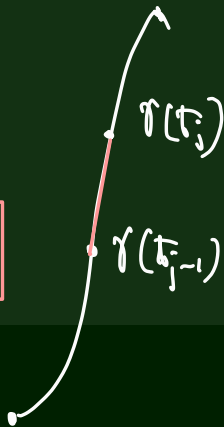
事実 (注意 1.8)

写像 $\gamma: [a, b] \rightarrow \mathbb{R}^n$ と区間 $[a, b]$ の分割
 $\Delta: a = t_0 < t_1 < \dots < t_n = b$ に対して

$$\mathcal{L}_\Delta := \sum_{j=1}^n |\gamma(t_j) - \gamma(t_{j-1})|$$

と定める。このとき γ が C^1 -級ならば

$$\mathcal{L}(\gamma) = \sup_{\Delta: [a, b] \text{ の分割}} \mathcal{L}_\Delta.$$

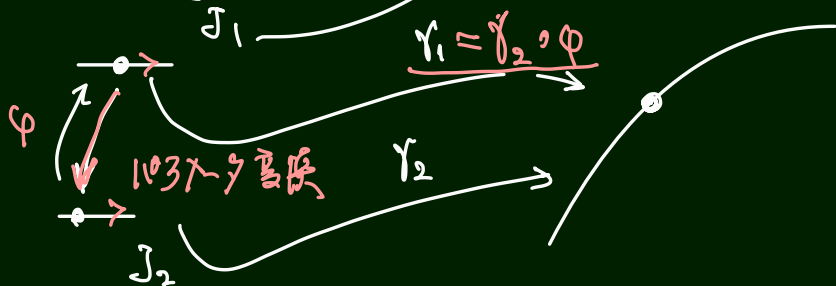


パラメータ変換

定義

パラメータ表示された曲線 $\gamma_1: J_1 \rightarrow \mathbb{R}^n$ と $\gamma_2: J_2 \rightarrow \mathbb{R}^n$ に対して、 γ_1 と γ_2 がパラメータ変換で移り合う、とは、 C^∞ -級全単射 $\varphi: J_1 \rightarrow J_2$ で次を満たすものが存在すること：

$$\dot{\varphi} > 0 \quad (\text{on } J_1), \quad \gamma_1 = \gamma_2 \circ \varphi.$$



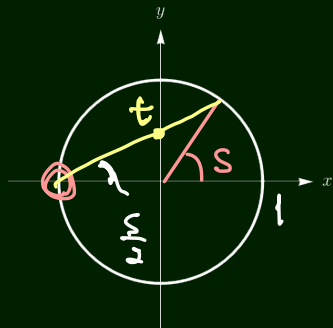
パラメータ変換 (例)

例

$J_1 = (-\pi, \pi)$, $J_2 = \mathbb{R}$ として, $\gamma_1: J_1 \rightarrow \mathbb{R}^2$, $\gamma_2: J_2 \rightarrow \mathbb{R}^2$ を

$$\gamma_1(s) := {}^t(\cos s, \sin s), \quad \gamma_2(t) := {}^t\left(\frac{1-t^2}{1+t^2}, \frac{2t}{1+t^2}\right) \quad \checkmark$$

で定めると γ_1 と γ_2 はパラメータ変換で移り合う.



$$t = \tan \frac{s}{2}$$

パラメータ変換 (例)

例

$$J_1 = J_2 = J_3 = \mathbb{R}$$

$$\gamma_1(s) := (s, 0), \quad \gamma_2(t) := (\sinh t, 0), \quad \gamma_3(u) := (u^3, 0)$$

とおくと、 γ_1 と γ_2 はパラメータ変換で移り合うが、 γ_3 は γ_j ($j = 1, 2$) とパラメータ変換で移り合わない。

$$s = \sinh t$$

$$s = u^3$$

剛体
ひねり

$$\frac{ds}{du} = 3u^2$$

パラメータ変換

補題

1. 「パラメータ変換で得られる曲線である」という関係は同値関係である.
2. パラメータ付けられた曲線 γ からパラメータ変換で得られる曲線 $\tilde{\gamma}$ の像は γ の像と一致する.

パラメータ変換による像の性質
が重要

$\gamma: J \rightarrow \mathbb{R}^n$: 曲線のパラメータ表示

定義

- ▶ $t_0 \in J$ が **特異点** $\iff \dot{\gamma}(t_0) = 0$
- ▶ 特異点をもたないパラメータ表示を曲線の正則なパラメータ表示, 略して 正則曲線 という. 速度 $\neq 0$
- ▶ とくに $|\dot{\gamma}| = 1$ のとき 弧長パラメータ表示 という.

ほぼ 1

弧長パラメータ

定理 (命題 1.11)

正則曲線 $\gamma: J \rightarrow \mathbb{R}^n$ とパラメータ変換で移り合う、弧長パラメータ表示された曲線が存在する。

証明.

点 $t_0 \in J$ を固定し、

$[t_0, t]$ の部分の弧長

$$s = s(t) = \int_{t_0}^t |\dot{\gamma}(u)| du: J \rightarrow J' := s(J) \subset \mathbb{R}$$

を考えると、 $ds/dt = |\dot{\gamma}(t)| > 0$ なので、逆関数定理より C^∞ -級の逆関数 φ が存在する。 $\gamma \circ \varphi: J' \rightarrow \mathbb{R}^n$ が求めるものとなる。 \square

$$t = t(s)$$

逆関数定理 (一変数)

定理 (一変数関数の逆関数定理)

区間 $J \subset \mathbb{R}$ 上で定義された C^r -級関数 $f: J \rightarrow \mathbb{R}$ ($r \geq 0$) の像 $f(J)$ は \mathbb{R} の区間である. さらに $r \geq 1$ の場合¹の導関数 f' が J 上いたるところで 0 とならないとき, $f: J \rightarrow f(J) \subset \mathbb{R}$ は全単射で, 逆写像 $f^{-1}: f(J) \rightarrow J$ も C^r -級である.

¹この講義ではとくに断らない限り $r = \infty$ の場合を考える.

問題 1-1

問題

区間 $J = [0, \pi]$ 上の C^∞ -級関数 $f_n(x) := \frac{1}{n} \sin nx$ ($n = 1, 2, \dots$) と定数関数 $f_\infty(x) = 0$ を考える.

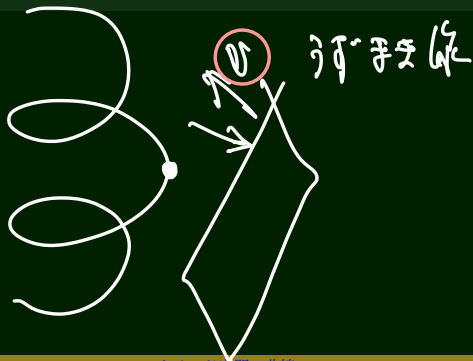
1. 関数列 $\{f_n\}$ は f_∞ に一様収束することを示しなさい.
2. 曲線 $\gamma_n(x) := {}^t(x, f_n(x))$ の弧長は $\gamma_\infty(x) = {}^t(x, 0)$ の弧長に収束しないことを示しなさい.

$y = f_n(x)$ の graph $(x, f_n(x))$

問題 1-2

問題

\mathbb{R}^3 の単位ベクトル v に対して、原点を通り v に直交する平面 Π_v への正射影を $\pi_v(x) := x - (x \cdot v)v$ と書く. 零でない二つの定数 a, b に対して曲線 $\gamma: \mathbb{R} \ni t \mapsto (a \cos t, a \sin t, bt) \in \mathbb{R}^3$ の正射影 $\gamma_v(t) := \pi_v \circ \gamma(t)$ が $t = 0$ に特異点をもつような v を求めなさい.



問題 1-3

問題

$J = (0, \infty)$ 上で定義された曲線 $\gamma(t) = {}^t(\operatorname{sech} t, t - \tanh t)$ の弧長パラメータ表示を求めなさい.

双曲線関数

$$\operatorname{sech} t = \frac{1}{\cosh t}$$
$$\cosh t = \frac{e^t + e^{-t}}{2}$$

本日の課題の提出締切は

2021年10月11日（月曜日）07:00 JST